

わたしたちの町

人口(男) 4,633人 (女) 4,980人 合計 9,613人 9月中の転入 23人 転出 27人 世帯数 2,318世帯

(9月末日住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和57年 10月20日 第293号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、中学校生徒会に委託して各家庭に配布しています。(発行予定日毎月15日) 広報への意見や話題などをお知らせください。

82/10月

293号

枝もたわわに 実りの秋

もぎとりに歓声

町内のりんご園は約四ヘクタール。甘ずっぱいかおりを秋風にただよわせて、実りの季節を迎えました。今年には台風被害もなく、まずまずの豊作。九月からの晴天続きで、赤く色づいたりんごが食欲をさそっています。もぎとり客は、町外の保育園児、小学校児童、家族づれが中心。大型バスをつらねての来園もあり、対応に追われています。園児たちは、せいっぱい背のびをして目あてのりんごをもぎとると、さっそくガブリ。大きさを比べ合ったり、食べる早さを競い合ったりして歓声をあげています。 「町内のりんごは、味では評判を得ています」と各農家は自信まんまん。 「転作」でりんごに取り組み農家もあり成果が待たれています。(保育園児でにぎわうハイランドわきのりんご園)



町内のりんご園

五十六年度決算

七千九百三十五万四千九百九十九円

町議会九月定例会は二十一日開会。昭和五十六年度決算など十一案件を可決・認定しました。五十六年度決算では一般会計で七千九百三十五万七千三百九十一円を繰りこし、国民健康保険特別会計では五千三十一万六千二百二十二円、診療所特別会計では二百七十八万三千三百三十六円の黒字決算となりました。

町議会 9月定例会

町長の行政報告から 工業団地に 公園を

公園を

今年の稲作は、一部に不稔米が見られますが、全般的には順調で予想以上の収穫が期待されています。畑作では夏秋キュウリ、山ゴボウ、アムスメロンで昨年以上の粗収入が見込まれています。いずれも町の振興作物で農家の意欲も高まりつつあり、来年度にはかなりの面積がふえるものと、有望視されています。 企業誘致は一社が昨年からの操業。二社では昭和六十年操業をめざして計画がすすめられています。この度、四番目の企業として三友電気株式会社を受け入れが決まり、来年五月操業の予定です。現在操業している大野台電機株式会社は納める部品の加工などを行い、誘致企業同士の結びつきが注目されています。引き続き企業誘致に努力します。 県では工業団地の造成工事を行っています。十一月末までに完成します。新たに、団地の西北部に二ヘクタールの公園をつくることになり、まもなく着工します。

可決された 主な議案

- 合川町墓園設置条例 駅前(鳥谷岱)に町墓園を設置することにし、使用料などを定めました。
○教育委員の任命 教育委員に木村仁衛氏(現教育長)を再任することに同意しました。
○五十七年度補正予算 一般会計予算で農業振興費六百六十八万円、災害復旧費千四百六十八万二千円など三千八百四十四万五千円を追加しました。
○五十六年度決算の認定 五十六年度の町の各会計の決算を認定しました。

大野台の農業開発については本年度から国の予備調査が行われ、地元三町では講演会や先進地の視察を行いました。今後も密接な連携を取り合って推進していきます。 阿仁合線については、鷹角線として第三セクターで運営する場合の条件が示されました。当町の負担は初年度から五年度まで四百七十九万九千円、六年度から十一年度まで千四百七十六万六千円、十二年度以降は千七百六十四万四千円とされています。



一般質問に答える 島山町長

どんぐり

「ドングリ」とは「丸いくり」と言う意味で、もともとはクヌギ(ブナ科)の実だけをさしていたようです。ところがクヌギの仲間のコナラ属も同じような実をつけるためナラ、カシワなど十七種類ほどの木の実をドングリというようになりしました。 同じドングリでもクヌギの実は、冬を越して二年がかりで実を結び、コナラ、カシワの実は花が咲いたその年に実になります。 戦時中は、子どもたちがドングリを集めさせられたと聞きます。皮をとり、水にさらして洗いをのぞいてつくった餅に、なつかしさを感ずる人も多いことでしょう。 月ドングリころころ月と口ずさまれて誰にでも愛されているドングリくん。幼児がベレー帽をかぶったようなかわいらしい形を利用した「こま」や「やじろべえ」なども楽しい遊びです。 あげびのほろにがい風味。コハゼ(ナツハゼ)のすっぱい味。トチの実、クルミ、くり、山ぶどう... 秋の山にはワンパク小僧たちの宝物がいっぱいいます。



飲酒運転 家族の笑いがなくなるぞ

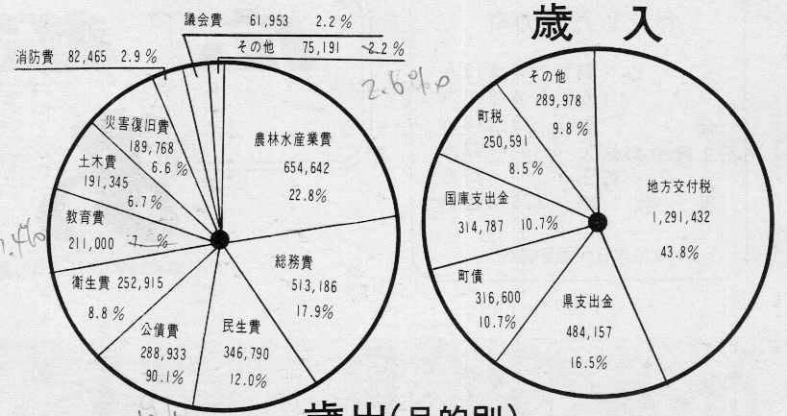
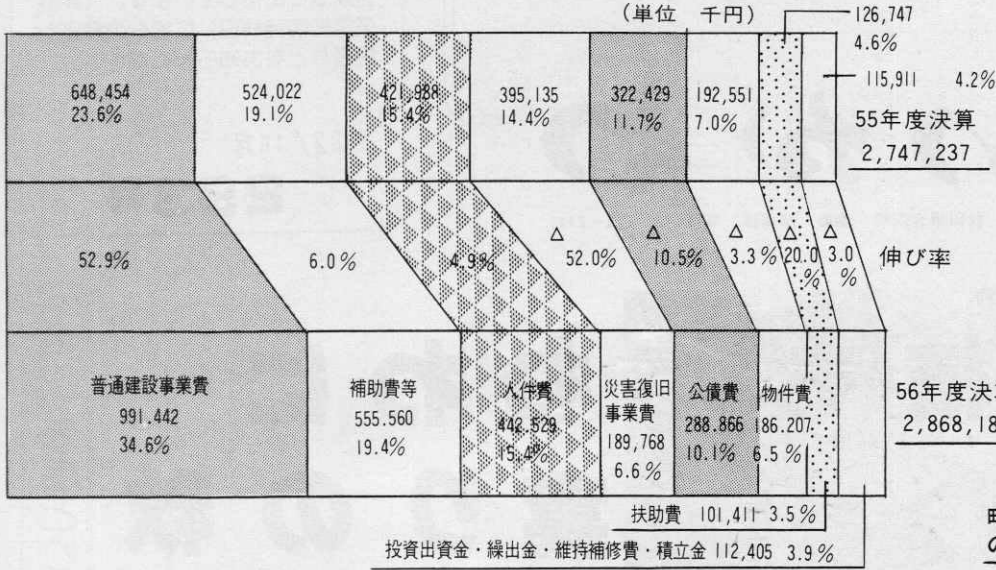
合川中学校一年 高橋光明さん

事故と火災のない明るい町をつくりましょう

町長日記から

ゲートボールの普及が急速にすすみ、特に老人層の熱心さには眼を張るばかりだ。九月二十日合中で開催の大会に出て「ゲートボールに熱が入ってけんかにならないように」と話したら、あとで危うくそんな事になりかねなかったと聞いた。ルールで許されている相手のボールをできるだけ遠くに飛ばすことが、意地悪と感ずられるからというのである。今、専門家がルールにゴルフのように穴に玉を入れることの検討をやっている。

### 性質別歳出の内訳(55年度決算と56年度決算の比較)



### 歳出(目的別)

項目	予算現額	調定額	収入済額
1 町民税	105,790,000	107,415,590	107,415,590
2 固定資産税	98,853,000	100,510,110	9,9316,860
3 軽自動車税	4,836,000	4,847,950	4,847,950
4 たばこ消費税	23,896,000	23,024,700	23,024,700
5 電気税	13,170,000	13,632,541	13,632,541
6 木材引取税	2,463,000	2,353,082	2,353,082

### 昭和56年度合川町各会計歳入歳出決算総括表

会計別	予算額	収入済額	支出済額	歳入歳出差引額
一般会計	3,009,356,000	2,947,545,152	2,868,187,761	79,357,391
国民健康保険特別会計	466,811,000	462,989,877	412,673,675	50,316,202
合川診療所特別会計	141,505,000	140,373,123	137,592,787	2,780,336
簡易水道施設事業特別会計	76,242,000	74,617,616	74,617,616	0
簡易水道施設建設事業特別会計	562,690,000	562,550,162	562,550,162	0
合計	4,256,604,000	4,188,075,930	4,055,622,001	132,453,929

### グラフで見る町の台所

## 大きいのびた建設事業費

### 特集 決算のなかみ

昭和56年度の町の各会計決算は9月定例町議会で認定されました。

55年度決算と比較して、一般会計では建設事業費が大きいのび、災害復旧費、公債費、物件費は少なくなりました。全会計の繰越総額は1億3,245万円。監査結果では「財政秩序も維持され、健全財政を保っている」と報告されました。町の台所—56年度決算と町の起債について特集します。

### 監査報告から

決算はいずれも予算の趣旨にそつもので、その結果は住民福祉の向上に寄与し、執行は効率的になされたものと認められる。財源確保と健全財政保持に努めた業績が認められる。経常経費については、ほとんどの項目に不用額(残額)が発生しているが、これは経費の節減によるものが多い。今後は、国の財政の影響が町にも及ぶものと予想されるので、なお一層、健全財政保持増進のため励んでほしい。国民健康保険特別会計では受診率の向上が医療費の減少につながっている。高額療養費の増加原因を究明してほしい。診療所特別会計は五十五年からの繰越分を除くと四百万円余りの赤字である。五十七年度の新築後は利用者が増える可能性が大きく、単年度赤字は特に問題はないと思われる。

簡易水道施設事業では、一般会計からの繰り入れ金分だけ実質赤字となっている。さらに企業経営的考察を加えて努力してほしい。

会計経理も良く整理されており、全般的に財政秩序も維持されている。決算は正当なものとする。

### 町づくりに大切な役割—町債

町でいろいろな仕事をするために必要なお金は、町税や地方交付税などの財源(一般財源)をもとに、国や県の補助金など(特定財源)でまかなわれています。地方交付税は、法律によって国税の一定率が地方に交付されるもので、その使い道は町で自主的に決めるものです。

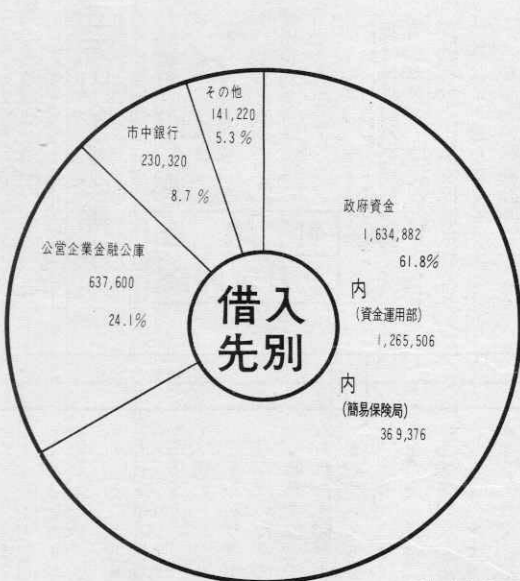
これらの財源を補って、事業を進めていくうえで大切な役割を果たしているのが町債(地方債)です。

大きな建物や道路は将来に残り、将来の人も利用します。そのため、将来の町民にも経費を分担させることがむしろ公平です。町債はこのような場合に果敢に許すことができます。

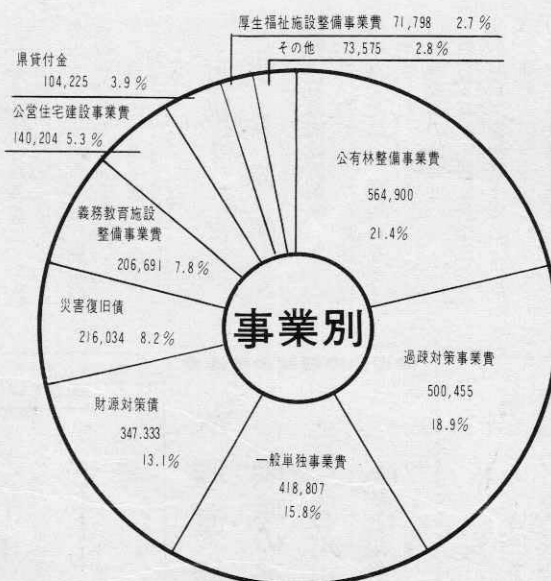
町債はいわば町の借金です。後年度の町民の大きな負担にならないように制限されています。五十六年度の一般会計決算の中の町債のなかみは下のグラフのとおりです。

借り入れ先は主に国やその関連機関で、内容については厳しく審査されます。使用目的では公有林整備のための低利の起債が、他町に比べてたいへん大きく、町の「宝の山」が育っています。また、過疎対策事業のように国から返済資金が交付される町債や、老人居室整備資金のように、町を通じて一般の人が借りる町債が多いことも町の特長です。

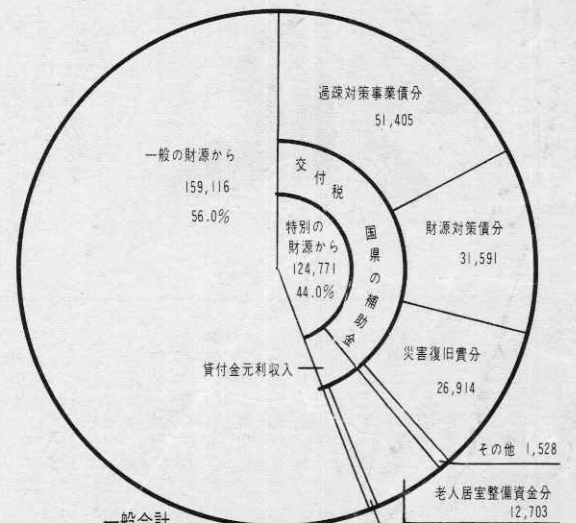
町債は、私たちの日常生活と切り離すことのできない多くの仕事を行い、私たちのくらしを豊かにしています。



56年度末借入現在高(一般会計) 26億4,402万2千円の内訳



特別会計56年度末借入残高 8億6,039万8千円 (内過疎対策事業債 1億8,815万7千円)



56年度返済金の財源内訳

### 五十六年度の町債事業から

#### ◎公有林整備

町営林千二百五十餘りを育て、あわせて大切な林業雇用の確保をしています。(写真 根田五条台)

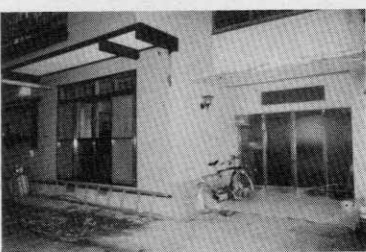


#### ◎農村環境改善センター

五十六年度分の事業費のうち三千九百七十万円に過疎対策事業債があられ、国からの交付税で償還されます。



◎老人居室整備  
お年寄りのために、町で各個人に転貸しています。五十六年度は十世帯。



(写真 改築住宅)

### 町内四百十の農業用水

#### 米内沢頭首工が竣工

道城地内から木戸石地内までの水田地帯を横断する農業用水路の「水源」米内沢頭首工が完成しました。町内の受益農家は五百九十五戸、四百十ヘクタール。三年がかりの大規模な改築工事によって、豊富な水が耕作地をうるおすことになりました。

米内沢頭首工は昭和三十六年に完成。その後の水害などによって水門などがこわれ、関係者は水の確保に苦勞してきました。頭首工の改築は五十四年度に着工。国庫の補助金二億八千七十五万五千円、地元負担四千九百四十二万五千円、総額三億三千九百五十五万円の巨費によって県営事業で完成されました。

新頭首工は全町百八十三・三メートル。管理室、取水口、土砂はけ口などのほか舟通し口と魚道が設けられています。魚道の新設によって魚の「通行」が可能になり、資源の増加が期待されています。

取水の能力は大幅に増加。幹線水路も整備され、水不足の心配は解消されました。

竣工式典は九月十二日、森吉町コミュニティセンターで開催。

齊藤孝蔵頭首工管理委員長が「頭首工は三百年以上の歴史があり、その改築は新しい歴史」と喜びのあいさつ。衆参国会議



当時の中心部の水田をうるおす米内沢頭首工

員をはじめ受益者代表、国庫の関係者百三十名が出席し完成を祝い合いました。

### 石油ストーブ

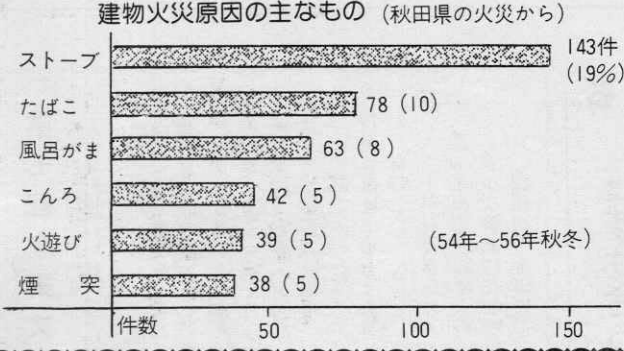
#### 正しく使って暖かい冬を

11月7日～  
秋の火災予防運動

本格的な冬を迎え、家庭ではストーブなどの暖房器具を使うことが多くなります。なかでも、石油ストーブは操作が簡単なうえに経済的という点でよく使われます。しかし、取り扱い方をひとつ間違えると屋内で使うだけに思わぬ大火につながります。そこで、石油ストーブによる火災を防ぐため、次のような点に注意しましょう。

①置き場所  
ふすまやカーテンの近くで使わない。周りはいつも整理整頓しておく。  
②点火する前  
給油口やカートリッジ式タンクのふたが完全に締まっているかなど、確認してから火をつける。傾くと火の消える装置（対震自動消火装置）などの点検と整備は専門家に頼む。  
③火のついているとき  
使用中は、長い時間をば

④灯油の保管  
必要以上に買いためしない。熱に弱いポリタンクは使わず。なるべく金属缶に入れる。日の当たらない壁ぎわに置く。日の当たる場所に置くときは、トタン板やベニヤ板でおおう。  
このような、日常的な配慮が石油ストーブによる火災を防ぎます。正しい取り扱って、冬を暖かく過ごしましょう。雪積りに備えて、火災の場合の消火用水や避難口について、常に確認しておきましょう。



## 笑顔いっぱい 長生きはつらつ

### 町ことぶき大会・敬老会

町のことぶき大会は九月十日、敬老会は十七日に開かれました。ことぶき大会では結婚五十年金婚をむかえた長生き夫婦を祝福。お祝い状と記念杯が贈られました。

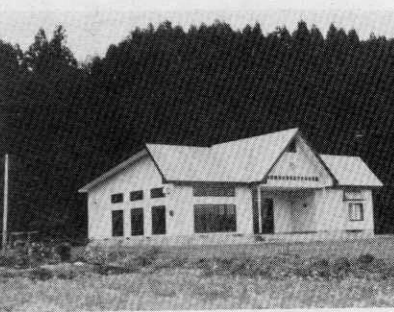
敬老会は七十五歳以上のかたが対象で、三百七十七名が出席。保育園児の演芸などで楽しい一日をすごしました。

初めて敬老式の仲間入りをする七十五歳になった六十五名に祝い状を贈呈。県や町から祝品や祝い金が手渡されました。町の敬老者は昨年より三十一人増えて、四百九十一名。敬老者を代表して小林敬治さん(下

ことぶき大会では金婚カップルを代表して畠山多一郎さんが「仲良く長生きして、町のためにならばいい」とあいさつ。「元気ではがらかに役立ってお年寄りになろう」という大会宣言に大きな拍手がわき上がりました。お年寄りをい



来年は新しくできる体育館での敬老会。元気に再会を」とかんばん



町が新築した児童遊園地

町が新築した児童遊園地は、敷地面積三千六百一十平方メートル。工事費二千九百六十万円。大集会室、研修室はじめ和室三室、調理室など明るく近代的なスタイル。十月二十四日、喜びの竣工式が行われます。

町が新築した児童遊園地は、敷地面積三千六百一十平方メートル。工事費二千九百六十万円。大集会室、研修室はじめ和室三室、調理室など明るく近代的なスタイル。十月二十四日、喜びの竣工式が行われます。

町が新築した児童遊園地は、敷地面積三千六百一十平方メートル。工事費二千九百六十万円。大集会室、研修室はじめ和室三室、調理室など明るく近代的なスタイル。十月二十四日、喜びの竣工式が行われます。

### 町のこよみ (行事予定)

十月	23日 北欧写真展
	23日 北欧との交流から秋田を考える集い(シンポジウム)
	24日 芹沢集會施設竣工式
	26日 健康大学
	27、28日 行政相談日
十一月	6、7日 町産業文化祭
	6日 町駅伝大会

### 年金

出稼ぎは 年金を確めて

出稼ぎに行かれる方は、出かける前に国民年金の保険料を忘れずに納めましょう。厚生年金を受けるには二十年

### 公営住宅の 入居者募集

次のとおり公営住宅の入居希望者を募集しています。

場所・戸数 合川町八幡宮新田 宇林帯 十戸

一般住宅八戸 身体障害者向住宅二戸

家賃 月額一万六千円(見込)

資格 (一)同居する家族を有する者 (二)収入金額が月額八万七千円以下であること(控除分を除く) (三)現在、住宅に困っていること (四)身体障害者向け住宅に入居する場合は、世帯主またはその家族が四級以上の身体障害者手帳を有するか、戦傷病者で手帳を有する者 (五)老人、身体障害者、その他特に居住の安定を図る必要がある者で、同居する親族がない者。

入居予定時期 昭和五十八年十一月一日

申込締切 昭和五十七年十一月三十日

入居者の選考 合川町公営住宅入居者選考委員会で行う

申込用紙等の交付、申込先及び問い合わせ先 役場福祉課(電話二二一一)

### 産業文化祭

写真展作品を募集しています

十一月六、七日に開かれる町産業文化祭「写真展コーナー」の作品を次のとおり募集します。多数の作品をお願いいたします。

一、内容「自由」町の風景写真、家族の写真、行事の写真など自由におよせください。他の写真展への出品作品は、その旨、お知らせください。楽しい写真、ほのぼのとした写真などお気軽にどうぞ。

二、規格「白黒・カラーともキヤベネサイズ以上の大きさ。

三、記念品等「出品者全員に記念品。作品によっては町で発行する資料(町のしおりなど)に利用させていただきます。その都度、出品者と協議します。

四、出品先「締切十月三十一日まで」写真展事務局(農村環境改善センター内)にお届けください。

### 最低賃金が 変わりました

十月十六日から秋田県の最低賃金が引き上げられました。

秋田県最低賃金

一日 二千八百五十八円

一時間 三百五十八円

お気軽にどうぞ 行政相談日

十月十七日からの行政相談週間にあわせて、次のとおり相談所が開かれます。当町の行政相談員 桜井栄治さん(下杉)電話二〇九五)は、秋田行政監察局から係員が参加します。税金、年金、道路、土地のことなど、気軽に相談ください。

日時・会場

九月二十七日 午前九時～正午 三木田公民館

午後一時～三時 木戸石児童館

九月二十八日 午前九時～午後三時 役場相談室

### 危険物取扱試験 受検者講習

申込締切 十月二十二日

申込先 広域消防合川分署 講習日・会場

十一月十六日・十七日 大館会場

十一月十八日・十九日 能代会場

十一月二十六日(丙種)秋田会場

### 出稼ぎは 互助会に 加入してから

出かせぎ者はだれでも会員になれます。

一カ月以上一年未満、家を離れて働きに出て、帰ってくる人は誰でも会員になれます。就労先は県内外を問いません。就労先は役場で簡単にできます。役場福祉課内出かせぎ相談所に申し込みください。家族のことも、代理の人が届けることもできます。

○ふるさとのたよりをお届けします。

広報あいかわのほか、ふるさとの新聞などをお届けします。

○事故や賃金未払いの時に手助けします。

不幸にして就労先で事故や病気があわれた時は、見舞金の制度があります。賃金未払いの相談にも応じ、親身になってお世話します。

### 県民手帳 申込受付中

昭和五十八年用の秋田県民手帳の申込を受け付けています。希望者は役場総務課窓口へ申し出てください。

価格 三百円

日記メモ欄 資料編、名簿編からなり、広く利用いただける手帳です。(えんぴつ付き)

### お気軽にどうぞ

十月十七日からの行政相談週間にあわせて、次のとおり相談所が開かれます。当町の行政相談員 桜井栄治さん(下杉)電話二〇九五)は、秋田行政監察局から係員が参加します。税金、年金、道路、土地のことなど、気軽に相談ください。

日時・会場

九月二十七日 午前九時～正午 三木田公民館

午後一時～三時 木戸石児童館

九月二十八日 午前九時～午後三時 役場相談室

# わが家のわたしの宝もの

14

今年の産業文化祭のテーマ『大地に根を張る豊かな郷土』はカネ子さんの作品が特選に選ばれました。「二人でいっしょにやっていると仕事ということ、農家に稼ごうと思っていました。田植え、稲刈りは忙しいですが、あとはそれほどでもありません。農業はたいへんな時ですがいずれは良くなります」

現在、田んぼ約1ヘクタール。5年前からしいたけに取り組み、農協を通じて市場に出しています。主な市場は札幌。「転作を畜産にしようか、きのこにしようかと話し合っ、結局、しいたけに決まりました」

「しいたけは“生き物”。毎日顔を合わせなければなりません。昼間、別の仕事があると、しいたけの仕事が夜の12時ごろまでになることもあります」

冬に自分たちで木を切り、春に菌を植えたばかりの木が秋には収穫できる方式で、年中、休みがありません。

「昨年は台風と雪でハウスに被害を受けました。通年栽培は、夏の管理が大切です。今年が良い出来ですが、秋場にあまり値段が上がりません。カネ子さんのしいたけハウスはカントリーエレベータの隣。いわば、町の農業施設の中心で、農業に取り組んでいます」

「今ではこれが本業になりました。なんとカ人並みに軌道に乗せたいとがんばっています」

子どもは二男一女で、長女は来春には中学校を卒業。「やっぱり、誰か1人には農業をやってほしいと思います。本人まかせですが。大野台の農業開発にも期待しています」

夫伸一さんは秋田県農協青年部の副委員長。「今年の夏、農業若妻の仲間で“若葉会”ができました。2人で休むわけにはいかないで、なかなか行けません」と苦笑。産業文化祭のテーマは伸一さんといっしょに応募。伸一さんのテーマは『作ろう 伸ばそう 明るい郷土の和と心』でした。



木戸石 藤島 カネ子さん

しいたけ 大地に生きる



のぼったり、はねたり。たのしくあそんでつよくなるぞ。

北保育園の園庭に、古電柱を利用した冒険遊具ができました。この遊具は、合川町ライオンズクラブ(会長 村形市三郎さん)や保母さんから喜ばれています。一番小さいひよこ組さんでも楽しめる遊具は、園児たちの人気のもと、じゃんけん遊びなどのゲームを、発明して連日、楽しんでいきます。

## わーい ぼくらのぼうけんコース

らいおんずのおじさんありがとう

シンポジウム— 講演と対話の集い

### 北欧との交流から秋田を考える

三回にわたるフィンランドなど北欧各国の研修のまとめから、私たちの暮らしを考える意見発表会です。日本フィンランド協会専務理事 増田吉男氏、魁新報社政経部長 奈良洋氏をはじめ木材、建築、医学、生物学、福祉、スポーツなど、各分野で活躍されている方々の提言を中心に、どなたでも参加できます。お気軽にどうぞ。

十月二十三日(土) 午後一時から県立菅野高等学校で  
○北欧写真展 十月二十三日 十一月三日 大野台ハイランドハウス

みんなてつくる

たすけ合う 心でつながる いくつの町で

南小学校四年 田中清久さん

福祉の町

### 第七回産業文化祭

「大地に根をはる豊かな郷土」

ポスター・テーマ決まる

産業文化祭のポスター・テーマが決まりました。ポスターは五点、テーマは十八点の応募。次のとおり入選作品が決まりました。(敬称略)

テーマの部  
特選 『大地に根をはる豊かな郷土』  
木戸石 藤島カネ子  
入選 『未来をひらく大野台豊かな郷土に花が咲く』  
西根田 金田京子

佳作 『信頼の輪と和でできなくおらが町』  
李倍 長岐茂男

ポスターの部  
特選 大野台グリーンハウス  
ス合作  
入選 川井 佐藤哲郎

みんなで参加  
みんなで出品

産業文化祭の日程・展示は

次のとおりです。

5日 展示物搬入・審査  
6日 午前 駅伝大会  
午後 表彰・開会式典  
記念講演  
7日 芸能発表会  
表彰式

展示 農産物品評会・美術展  
写真展・商工コーナー  
ことぶきコーナー・営業  
農大の里コーナー・林業  
コーナー・指導センター  
コーナー・公民館コーナー・青空コーナー

交通安全コーナー・青年海外コーナー・芸文コーナー・誘致企業コーナー・町の動き展・発明工夫展・学校給食コーナー・郷土民俗展  
催し等 食堂・農機具自動車ショー・各種相談室  
実物鑑定  
(展示は中学校・農村環境改善センター・保健センターの三会場です)

記念講演 『映画とわたし』  
映画監督 山田典吾氏  
映画を通じて多くの人々を感動させてきた心ふれ合う講演に期待ください。



22

北小学校親子文集

「地の塩」から

北小学校では親子読書をすすめ、「簡単に素直に」を相言葉に感想文をまとめた文庫「地の塩」を発行しています。夏休み親子読書のまとめから、紹介します。

一年 杉測よしのり

母 杉測美代子

本 三つのおんがえし

作者 松谷みよ子

○よしのりくんの感想

わなにかかっていたるを、たすけたおじいさんが、やさしいとおもいました。たすけられたつるも、おじいさんにやさしくしてくれたところがよかったです。

○お母さんの感想

「約束」を守ることが少ない大人たちです。そして弱い人をたすけてやる気持ち、そつと見ても手をさしのべてやることのできない自分に腹をたてて、反省させられました。改めて本を読んで、もう一度初めから考え直して行きたい気持ちです。



一日一読 読書の秋

子どもの気持ちをふみにじんだりしないよう、小さい約束から守って行きたいものです。

三年 工藤享職  
母 工藤洋子  
本 三人で見た空  
作者 砂田 弘

○享職くんの感想

卓也君、新一郎君、サチコさんの三人組は学校に行くのも帰るのもいっしょ。かぜをひくのもいっしょだった。だが、サチコさんはパパの転勤で九州へ行くことになった。千五百回も歩いた道をいつもどおり三人で歩く空の上にくもが三人のようにならんでいた。いつかまた三人組になれるかなあ。

○お母さんの感想

伸よし三人組の中の一人との別れに対し、子どもたちはそのさみしさをのりきるために、人間の心のつながりがこの世で一番強いことに気付く。今の子どもたちには、物品を通してのつながりだけが先んじているようで、心のつながりがうすいような気がしてならない。

金田由雄 氏に

成田政治 氏に

交通栄誉章

全日本交通安全協会の交通安全栄誉章「緑十字銅章」に、金田由雄さん(羽根山六四歳)と成田政治さん(李倍五二歳)の二人が選ばれました。緑十字章は地域の交通安全に尽力している人を讃えるものです。

金田さんは運転歴三十年余りで、無事故無違反。営林署勤務時代から、職場と地域で安全を指導されてきました。

成田さんは営林署勤務。運転歴二十五年で無事故無違反。町交通安全協会の西部会事務局長として、安全活動の先頭にたつて献身されています。

伝達式は九月二十九日に行われ、表彰状と栄誉章が贈られました。

善意のご寄付

(敬称略)

〔香典返しにかえて〕  
村形定治 川井(故父 亀蔵)  
藤岡秀雄 羽立(故母 ナツ)  
伊東公士 杉山田(故父聖夫)  
松岡佑一 羽根山(故父忠一)  
金田平蔵 羽根山(故父平吉)  
(一般寄付)  
合川町・民舞会一同

慶弔だより

9月届

○お誕生おめでとうございます

斉藤晋也 行雄 長男 新田目  
工藤信貴 光信 長男 上杉  
杉測英尚 政和 二男 杉山田  
松橋 智 幹男 三男 杉山田  
山田祐美 一弘 長女 木戸石  
佐藤裕己 公己 長男 東根田  
高橋美奈子 泰三 長女 駅前  
米倉智大 道徳 長男 上杉  
新田優希 透 長女 新田目  
三浦 雄 謙二 三男 三木田  
松井謙二 紀美男 二男 美栄  
●謹んでお祝い申し上げます  
村形竜蔵 本人 川井  
伊東聖夫 本人 杉山田  
藤岡ナツ 秀雄 母 羽立  
松岡忠一 本人 羽根山  
安部松五郎 本人 新田目  
清原堅治郎 本人 駅前  
畠山ソウ 要助 養母木戸石